

株主のみなさまへ

第62期報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

さまざまな分野に貢献する カワタの機器&システム

● 医薬品
Pharmaceuticals



● 食品
Food



● 化粧品
Cosmetics



● 顔料
Pigment



● 液晶用光学フィルム
Glass for LCD



● 建材
Construction materials



● プラスチック
Plastic



● セラミック
Ceramic



● 金属
Metal



● 太陽電池
Solar cell



● カラートナー
Color Toner



カワタの理想的な
ミキシング技術が、
幅広い分野と多様なニーズに、
お応えしています

KAWATA's ideal mixing technology
meets the diverse needs of a wide
range of field.

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

このたびの震災により被災されました株主の皆さまには、心からお見舞申しあげ一日も早い復興をお祈りいたします。

当社の第62期報告書をお届けするに当たり、一言ご挨拶申し上げます。

世界経済は欧州の財政懸念や先進国の高水準の失業率等、引き続き厳しい状況にあるものの、米国は緩やかな回復過程にあり、新興国は総じて堅調な成長を持続しております。

わが国経済もデフレや厳しい雇用情勢等、深刻な状況ではありますが、製造業の生産や輸出は持ち直しつつあり、設備投資の動向を知るうえで先行指標の一つである機械受注統計の推移を見ても、製造業の機械受注額は1月で前月比7.2%増、2月で前月比11.1%増と回復の動きが見られてきました。

しかしながら、3月11日に発生した東日本大震災および福島第1原発の事故は、電力供給や物流網をはじめとする社会インフラに深刻な打撃を与え、今後のわが国経済に多大な影響を及ぼしつつあります。

このような環境下、当社グループは、プラスチック成形関連のコアビジネスにおきまして、品質の向上、納期の確守、新製品の開発等、競争力強化によるマーケットシェアの拡大を図るとともに、環境、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大に注力してまいりました。

この結果、売上高は中国を中心とした東アジアが堅調に推移したこと、国内においてもフィルム、電池、コネクタ等の電子部品関連の需要が回復基調であったこと等により、前年同期比38億6千7百万円増(同44.3%増)の125億9千8百万円となりました。

損益面でも、価格競争激化によるマイナス要因はあるものの、売上高の増加に伴う売上総利益の増加、材料費を中心とした原価低減や諸経費低減努力等により、5億3千8百万円の営業利益(前年同期は6億9千4百万円の営業損失)、5億4百万円の経常利益(前年同

期は7億4百万円の経常損失)となりました。

これから、法人税、住民税及び事業税2億2千6百万円等を計上した結果、2億2千9百万円の当期純利益(前年同期は11億4千9百万円の当期純損失)となりました。



世界各国における景気対策の発動や中国等の新興国の内需拡大等により、世界経済は回復してきている一方で、欧州の財政懸念や先進国の失業率の高止まり、新興国の物価上昇懸念等、景気を下押しするリスクも存在しております。わが国経済は東日本大震災および福島第1原発事故の影響による生産活動の低下や輸出の減少が懸念され、当面は弱含みで推移するものと予想されます。

当社グループでは、かかる環境下、コアビジネスにおきまして、生産拠点(日本、中国、インドネシア)および営業・サービス拠点(日本、中国、台湾、東南アジア、米国)相互の連携を強固にし品質、コスト、納期面での競争力を一層強化することにより、グローバル化するユーザーニーズへ対応しマーケットシェアの拡大と収益力の向上を図ってまいります。一方、高付加価値製品の開発や環境、電池、食品、化粧品等の新規販売分野の開拓・拡大にも積極的に経営資源を投下することにより、市場対応力のある企業として成長を続け、企業価値・株主価値を高めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底、内部統制システムの整備・運用と改善の継続、人材の育成と強化により、経営体質の一層の強化を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 湯川 直人

子会社等の状況

名称	住所	資本金又は出資金	事業の内容	事業上の関係
カワタU.S.A. INC.	米国 ペンシルバニア州	80千米ドル	プラスチック製品製造機器事業	「コネアカワタセールス&サービスCO.」に対する投資
カワタバシフィック PTE. LTD.	シンガポール国	2,000千シンガポールドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
カワタタイランド CO., LTD.	タイ国 バンコク市	6,000千タイバーツ	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
カワタマーケティング SDN. BHD.	マレーシア国 ネゲリセムビラン州	1,000千マレーシアドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
川田機械製造 (上海) 有限公司	中華人民共和国 上海市	875千米ドル	〃	当社製品の製造
PT. カワタ インドネシア	インドネシア共和国 西ジャワ州	1,000千米ドル	〃	当社製品の製造 (2011年9月より操業開始予定)
川田国際股份 有限公司	中華民国 台湾省 新竹市	1,000千ニュー台湾ドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
川田機械 香港有限公司	中華人民共和国 香港特別行政区	100千香港ドル	〃	当社製品の販売・据付工事およびアフターサービス業務
(株)カワタ テクノサービス	大阪市西区	50,000千円	〃	当社製品の据付・配管工事およびアフターサービス業務
(株)サーモテック	大阪市西成区	33,400千円	〃	当社製品の製造
エム・エルエンジニアリング株	静岡県藤枝市	75,000千円	〃	原材料および製品の一部を相互に供給している



設計、開発、生産拠点 (三田工場)



粉体関連事業 テストセンター



計量混合機・乾燥機 テストセンター

セグメント情報

日本におきましては、フィルム、電池、コネクター等の電子部品関連の需要が回復基調であったこと等により、売上高は前年同期比27億4千3百万円増 (同38.3%増) の99億9百万円となり、セグメント利益 (経常利益) は3億2千7百万円 (前年同期は5億7千1百万円の損失) となりました。

東アジアにおきましては、中国、台湾における需要が順調に拡大したこと等により、売上高は前年同期比14億5百万円増 (同107.3%増) の27億1千5百万円となり、セグメント利益 (経常利益) は2億1千万円 (前年同期は1億2千2百万円の損失) となりました。

東南アジアにおきましては、タイの自動車関連等、ASEAN諸国の需要が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同期比3億5千1百万円増 (同47.0%増) の10億9千8百万円となり、セグメント利益 (経常利益) は1千2百万円 (前年同期は1千7百万円の損失) となりました。

北米におきましては、前年度が比較的好調であったこと等により、売上高は前年同期比3千5百万円減 (同21.5%減) の1億3千万円となりましたが、セグメント利益 (経常利益) は4百万円 (前年同期は0百万円の利益) となりました。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(単位: 千円)

	日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	合 計	調 整 額	連結財務諸表 上 額
売上高							
外部顧客への売上高	9,192,831	2,204,192	1,071,180	129,904	12,598,108	—	12,598,108
セグメント間の内部売上高又は振替高	716,251	511,503	27,817	786	1,256,358	△1,256,358	—
計	9,909,082	2,715,695	1,098,998	130,691	13,854,467	△1,256,358	12,598,108
セグメント利益	327,046	210,105	12,206	4,353	553,710	△49,419	504,291
セグメント資産	10,266,673	1,793,856	822,098	69,561	12,952,190	△1,045,761	11,906,429

地域別売上高

(単位: 千円)

日 本	東 ア ジ ア	東南アジア	北 米	その他の地域	合 計
8,332,366	2,964,728	1,085,733	158,656	56,623	12,598,108

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しております。



川田機械製造 (上海) 有限公司 川田 (上海) 有限公司 川田機械製造 (上海) 有限公司 第2工場 川田機械製造 (上海) 有限公司 第3工場 インドネシア工場完成予想図

連結決算情報

● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	9,297	7,859
固定資産	2,608	2,717
有形固定資産	2,196	2,278
無形固定資産	26	30
投資その他の資産	385	408
資産合計	11,906	10,577
【負債の部】		
流動負債	3,938	3,331
固定負債	2,778	2,203
負債合計	6,716	5,535
【純資産の部】		
株主資本	5,276	5,048
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	3,271	3,041
自己株式	△ 40	△ 40
その他の包括利益累計額	△ 231	△ 138
少数株主持分	144	133
純資産合計	5,189	5,042
負債純資産合計	11,906	10,577

● 連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	12,598	8,730
売上原価	9,224	6,870
売上総利益	3,373	1,860
販売費及び一般管理費	2,834	2,555
営業利益又は営業損失(△)	538	△ 694
営業外収益	78	121
営業外費用	112	130
経常利益又は経常損失(△)	504	△ 704
特別利益	1	1
特別損失	20	131
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	484	△ 834
法人税、住民税及び事業税	226	14
法人税等調整額	△ 4	297
少数株主損益調整前当期純利益	263	—
少数株主利益	33	2
当期純利益又は当期純損失(△)	229	△ 1,149

● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	138	179
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 113	△ 84
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 37	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 109	60
現金及び現金同等物の期首残高	3,398	3,338
現金及び現金同等物の期末残高	3,288	3,398

単体決算情報

● 貸借対照表

(単位：百万円)

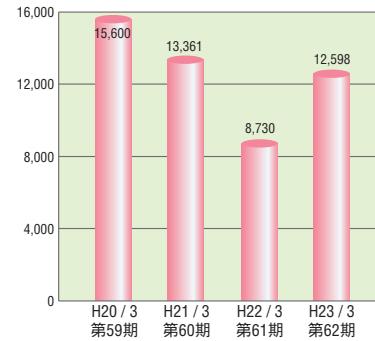
区 分	当 期	前 期
	平成23年3月31日現在	平成22年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	5,235	4,944
固定資産	3,012	2,952
有形固定資産	1,795	1,842
無形固定資産	1	4
投資その他の資産	1,215	1,105
資産合計	8,248	7,897
【負債の部】		
流動負債	1,814	2,068
固定負債	2,437	1,898
負債合計	4,251	3,966
【純資産の部】		
株主資本	3,982	3,902
資本金	977	977
資本剰余金	1,069	1,069
利益剰余金	1,976	1,895
自己株式	△ 40	△ 40
評価・換算差額等	14	28
純資産合計	3,996	3,931
負債純資産合計	8,248	7,897

● 損益計算書

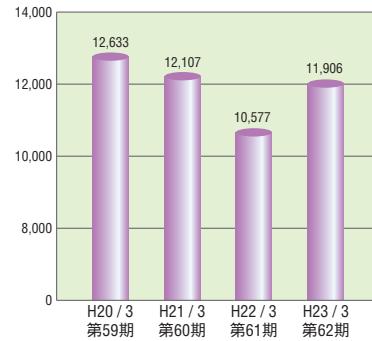
(単位：百万円)

区 分	当 期	前 期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成21年4月1日から平成22年3月31日まで
売上高	7,325	5,213
売上原価	5,808	4,342
売上総利益	1,516	870
販売費及び一般管理費	1,511	1,435
営業利益又は営業損失(△)	5	△ 565
営業外収益	195	100
営業外費用	90	130
経常利益又は経常損失(△)	110	△ 595
特別利益	—	0
特別損失	2	130
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	108	△ 725
法人税、住民税及び事業税	28	13
法人税等調整額	△ 1	206
当期純利益又は当期純損失(△)	81	△ 945

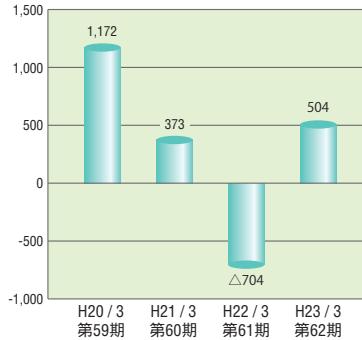
● 売上高 (単位：百万円)



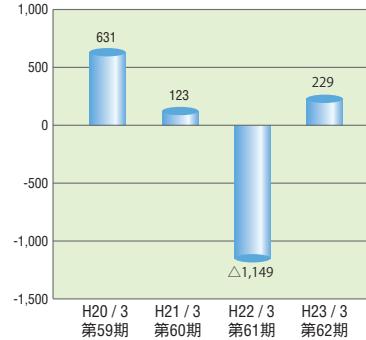
● 総資産 (単位：百万円)



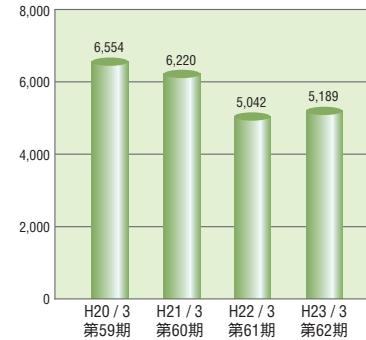
● 経常利益 (単位：百万円)



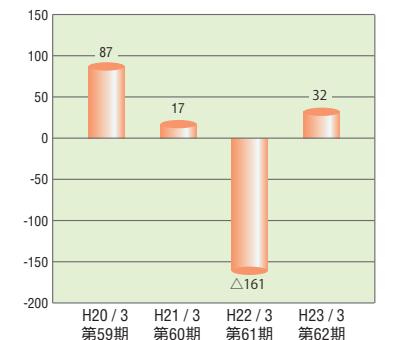
● 当期純利益 (単位：百万円)



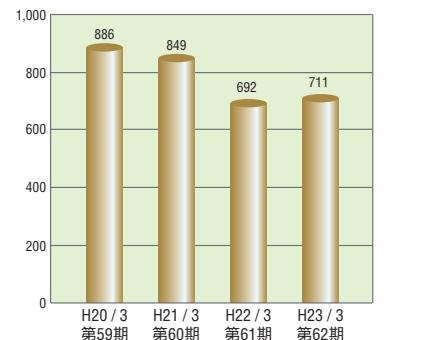
● 純資産 (単位：百万円)



● 一株当り当期純利益 (単位：円)



● 一株当り純資産 (単位：円)



(注) 記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

(平成23年3月31日現在)

商号	株式会社カワタ
	(KAWATA MFG. CO.,LTD.)
本社	〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目15番15号
設立	昭和26年7月13日
資本金	977,142,640円
従業員数	162名 (連結632名) (役員 出向社員 パート 嘱託は除く)
株主数	1,156名

主な事業所

本社	大阪市西区
仙台営業所	仙台市太白区
東京営業所	東京都中央区
高崎営業所	群馬県高崎市
北関東営業所	栃木県小山市
南関東営業所	神奈川県厚木市
静岡営業所	静岡市駿河区
名古屋営業所	名古屋市東区
大阪営業所	大阪市西区
広島営業所	広島市中区
九州営業所	福岡市博多区
三田工場	兵庫県三田市

役員 (平成23年6月29日現在)

代表取締役社長	湯川直人
代表取締役常務	尾崎彰
取締役	森畑秀則
取締役	柴孝幸
取締役	藤坂祐宏
取締役	荒川愼一
常勤監査役	村岡和博
監査役	内田重胤
監査役	軸丸欣哉

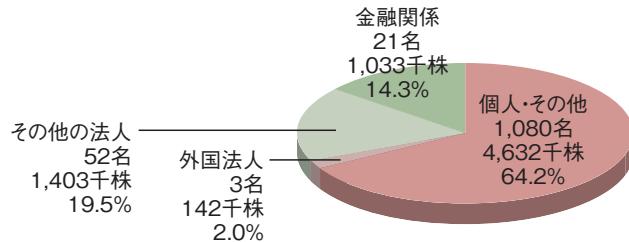
株式情報

- 発行可能株式総数 20,000,000株
- 発行済株式の総数 7,210,000株
- 単元株式数 1,000株
- 株主数 1,156名
(前期末比15名減)
- 大株主の状況

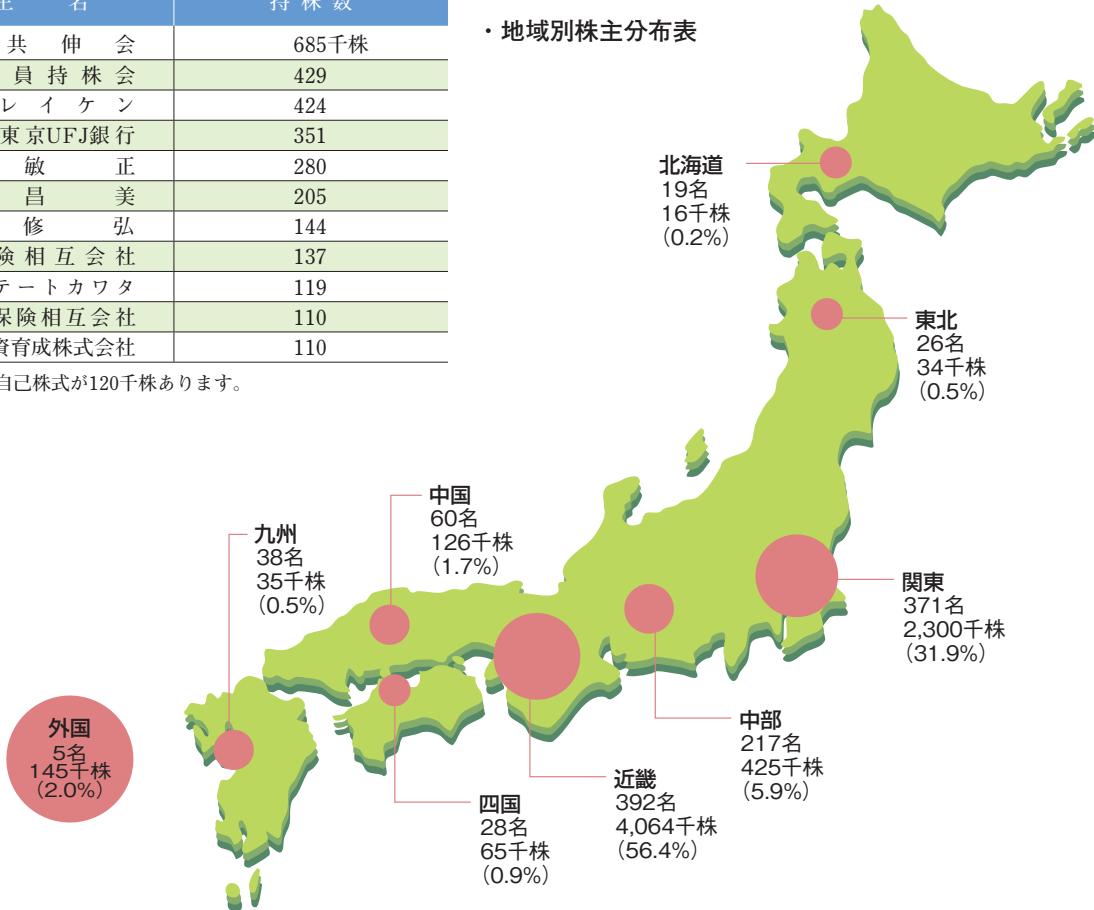
株主名	持株数
カワタ共伸会	685千株
カワタ従業員持株会	429
株式会社レイケン	424
株式会社三菱東京UFJ銀行	351
太田敏正	280
川田昌美	205
川田修弘	144
日本生命保険相互会社	137
有限会社エステートカワタ	119
明治安田生命保険相互会社	110
大阪中小企業投資育成株式会社	110

(注) 上記のほか、自己株式が120千株あります。

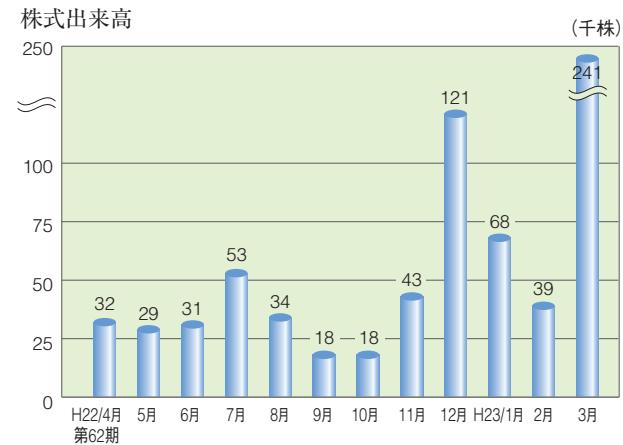
所有者別分布表



地域別株主分布表



株価チャート



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末 3月31日
中間 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
☎0120-094-777 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告
当社ホームページ
(<http://www.kawata.cc/>) に掲載
- 株式取引 大阪証券取引所ジャスダック(スタンダード)
- 会計監査人 新日本有限責任監査法人

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。